



台湾港務株式会社
2013年11月18日

高雄港、国際線旅客船ターミナルが着工

近年、アジアでは客船でのクルーズ旅行がブームになっており、クルーズの寄港による経済効果もかなり大きいと考えられます。台湾港務会社はより一歩早くこの機会を掴むために、41.43 億元を投資して国際線旅客船ターミナル(高雄港埠旅運中心)の建設計画を進めました。

国際線旅客船ターミナル工事は、第一段階の土木工事と第二段階の水道・電力工事に分かれ、106年の6月に全体の完工を目指しています。第一段階土木工事の着工式は、102年11月9日(土曜日)午前10時に高雄港の19号、20号埠頭で行われ、中央・地方政府等の機関、海運関連の業界団体、高雄港の船会社、業者、旅行・ホテル業界及び協会・組合、クルーズ運航会社、民意代表等が出席しました。

国際線旅客船ターミナルの完工後、既存の17号から21号までの埠頭設備(全長計726メートル、水深10.5メートル)と合わせて2隻の大型クルーズ客船が停泊が可能となり、ピーク時に1時間当たり2,500人の旅客の通関に対応できます。

国際線旅客船ターミナルは、アメリカ・ニューヨークの有名な建築家のJesse Reiser及び台湾の宗邁建築士事務所が共同でデザインしたものです。地下2階地上15階で、延べ床面積は約80,774平方メートルです。上部は鉄骨構造を採用し、2重のETFE膜かステンレスメッシュで覆われ、施工時に高度な施工技術が必要です。

高雄港ウォーターフロントを活かした旅客船ターミナルは、完工後世界貿易展覧会議センター、海洋文化および流行音楽センターなどに合わせて、高雄独特なレジャー空間を形成すると考えられます。当社の高

雄支社は、「将来完全な旅客サービスを提供するほか、経営の多角化に乗り出すためにターミナルにショッピングセンター、レストラン等を設ける予定です。これによって永続なビジネスチャンスを創出し、地方経済の向上に貢献することが期待できる。」と語りました。